

る認識のもとに、闘い獲ることである。

現實に墮せず、理論に盲目ならず、日常 大衆と共に、或は急激に、或は除々に、眞実なる無産階級の政治闘争を、突鋭、展開すべきである。

民憲黨は今や、其の鮮明なる運動方針の指令に基いて、全無産大衆の階級闘争意識を純化し、無産者運動の正統的戦線の統一結合を實現するがために、全国的運動に進出すべき時機であらねばならぬ。

斯くして、民憲黨第四回大會こそは、ブルジョ

アジイに対する、颯々たる膺懲の劔であり、無産階級運動に向つては、唯一無二なる護身の寶刀であらねばならぬ。

右宣言す。

一九二一年四月十七日

民憲黨第四回大會